

日向東門や爲し名籠屋大濟を西門や。没利島阿閉島を
 御管や爲柴嶋を割く御願や。逆見海を鹽地やせむや申
ハコ シ サカミ シホトコロ
セ 向津野ハ長門国大津郡出崎小向津村あり。名護屋ハ
 筑前国遠賀郡若松邑ト一里小近き東北の出崎没
 利ハ行囊抄小長門国大茂津連島小茂津連島やあり是ハ
 やま其西北小筑前国小つさくおの島や。阿
 閉島ハ和名抄小長門国美祢郡作美郷今も豊浦宮の西南
 逆見ハ和名抄小長門国美祢郡作美郷今も豊浦宮の西南
 武久村の沖小ありや。東門西門を定申せハ鴨祐之縣
 主が奉極豊浦宮而定皇域也や。説の如く御管及魚鹽
 地やを定しハ天饑を貢る地を際く設けし。亦
 上古の大儀ハ証を聊言ふ出雲風土記小須佐之男大
 神の大須佐田小須佐田及五贊組の地を定給ひ大名持命
 ハ天御領田天御饒田等を定坐る由見え大同本記小伊勢
 大御神の令大官小鎮給ひ時倭姫命の御船小乗し諸
 島を巡給つ種々の御費貢る所を定坐る事の見えたる
 悟るや。あふ熊罴海路の先導仕奉る筑前国山鹿岬

よ皇廻り崗浦小入らむや爲給ひ時其水門小到御
 船進み得ハ山鹿ハ和名抄小遠賀郡小在。宇治拾遺小山
 鹿の莊や。平家物語小壽永中平氏の城郭
 をあふ。見え。崗浦ハ風土記小嶋郷縣の東側
 近小大江ハあり。嶋郷水門や。神武天皇御船も
 海たる地あり。万葉集小天ぎ。日方吹ら。水莖の岡の
 水門ハ波たち度る。行囊抄小今蓋屋。湊あり。里人も志あり
 ひ傳ふや。天皇おれを恠ま。熊罴小問給。朕い
 熊罴ハ赤心も。參迎奉。聞る。を。船の進ま。を
 るらむや。詔ふ。熊罴奏。御船の進得。臣が
 罪あり。侍ら。此浦。男神女神二柱坐。男神御名ハ大
 倉主女神ハ菟夫羅媛や申。必是神の御心を。むや奏せ
 ハ。天皇乃御祈あり。御船の披披大條國菟田の人伊賀彦

を祝^{イハヒ}や爲^ス。其神を祀^{イハヒ}ら^ズ免^ス坐^ス。御船^{ミナト}恙^{ナシ}無^ク進^ムみた
里^ニ。此神を内宮儀式帳に大水神の御兒津布良比古津
布良比賣命と有ふ。同神を言ふ。説^ハあ^レか^ク。皇
見ゆ。此祠今遠賀郡高倉里に在る。貝原氏云。皇
別船^{ワカ}御^ミ洞海^{クニ}入^リせ^ル。潮^ウ洞^ニ御船^ミ進^ムみ得^ル。石
水縁起^ミを^シ。皇^ミ后^ノ門^ノ司^シ大江^ノ崎^ニ。著^セ給^フ。拵^ヲ。鹽^ヲ。手^ノの^時
分^メ。船^ヲ。進^ム。る^べ。き^様。も^ナ。其^時。以^テ。翁^ノ。只^シ。一^人。皇^后の^時
召^ス。る^御。船^共。を^{。與}。中^へ。皆^推。出^ス。る^を。言^フ。道^行。振^小。
穴^門の^{。豊}。浦^{。都}。を^{。申}。侍^{。る}。今^の。赤^間。関^{。門}。司^{。関}。の^{。穴}。
間^{。山}の^{。一}。つ^{。み}。其^中。小^{。鱈}。の^{。満}。手^{。の}。道^{。を}。言^フ。穴^門の^{。穴}。
様^{。小}。侍^{。る}。其^{。岸}。の^{。東}。西^{。小}。人^{。家}。繫^{。り}。を^{。言}。り^{。穴}。門^{。の}。穴^門の^{。穴}。
り^{。後}。一^{。夜}。の^{。程}。小^{。穴}。戸^{。の}。山^{。分}。り^{。今}。の^{。早}。鞆^{。の}。渡^{。小}。成^{。り}。
。共^{。小}。此^{。時}。の^{。引}。島^{。の}。事^{。ハ}。風^{。土}。記^{。の}。傳^{。小}。や^{。覺}。ゆ^{。り}。
島^{。ま}。参^{。迎}。奉^{。り}。を^{。言}。り^{。穴}。門^{。の}。穴^門の^{。穴}。神^{。異}。ハ^{。赤}。縣^{。太}。古^{。傳}。

小^{。穴}。邊^{。小}。住^{。給}。る^{。神}。等^{。の}。御^{。舟}。爲^{。り}。や^{。述}。驚^{。岡}。の^{。故}。事^{。ト}。
考^{。合}。り^{。給}。る^{。謂}。り^{。給}。る^{。神}。異^{。あり}。を^{。言}。り^{。穴}。門^{。の}。穴^門の^{。穴}。驚^{。駭}。
て^{。彼}。昔^{。より}。是^{。坂}。奉^{。り}。五^{。十}。迹^{。手}。ハ^{。頭}。小^{。信}。服^{。奉}。り^{。言}。り^{。穴}。門^{。の}。穴^門の^{。穴}。
ま^{。記}。傳^{。小}。穴^{。山}。真^{。意}。ハ^{。考}。を^{。奉}。り^{。長}。門^{。段}。浦^{。ハ}。豊^{。前}。の^{。早}。鞆^{。の}。
崎^{。の}。間^{。の}。海^{。里}。人^{。ハ}。一^{。里}。あり^{。や}。云^{。を}。り^{。穴}。門^{。の}。穴^門の^{。穴}。近^{。く}。僅^{。小}。
五^{。六}。早^{。許}。放^{。れ}。た^{。を}。言^{。り}。段^{。浦}。ハ^{。早}。鞆^{。ハ}。相^{。對}。した^{。り}。兩^{。岸}。の^{。両}。
崩^{。缺}。た^{。り}。形^{。を}。見^{。る}。上^{。代}。小^{。穴}。此^{。所}。長^{。門}。や^{。豊}。前^{。ハ}。接^{。き}。た^{。り}。
る^{。岩}。山^{。の}。其^{。下}。小^{。洞}。あり^{。東}。西^{。通}。り^{。湖}。の^{。通}。道^{。あり}。り^{。り}。
船^{。ハ}。往^{。來}。は^{。つ}。む^{。故}。小^{。穴}。戸^{。の}。穴^門の^{。穴}。神^{。哀}。紀^{。小}。
洞^{。海}。と^{。あり}。此^{。を}。言^{。云}。早^{。鞆}。神^{。社}。ハ^{。豊}。前^{。地}。に^{。有}。れ^{。や}。り^{。り}。
今^{。も}。里^{。人}。ハ^{。長}。門^{。の}。社^{。を}。言^{。り}。穴^門の^{。穴}。地^{。接}。き^{。長}。門^{。の}。
の^{。内}。を^{。言}。り^{。故}。小^{。穴}。有^{。る}。此^{。考}。貞^{。世}。の^{。記}。を^{。起}。と^{。大}。方^{。似}。
た^{。り}。洞^{。海}。の^{。久}。岐^{。ハ}。久^{。具}。理^{。あり}。山^{。下}。の^{。洞}。を^{。言}。り^{。穴}。門^{。の}。穴^門の^{。穴}。
の^{。往}。來^{。ハ}。故^{。の}。名^{。を}。言^{。り}。穴^門の^{。穴}。指^{。掌}。國^{。筑}。紫^{。紀}。行^{。を}。り^{。り}。
み^{。早}。鞆^{。浦}。ハ^{。長}。門^{。目}。を^{。り}。穴^門の^{。穴}。尚^{。熊}。罽^{。更}。小^{。還}。
秀^{。ハ}。記^{。傳}。又^{。赤}。縣^{。太}。古^{。傳}。を^{。言}。り^{。穴}。門^{。の}。穴^門の^{。穴}。見^{。る}。を^{。言}。り^{。穴}。門^{。の}。穴^門の^{。穴}。
來^{。る}。皇^{。后}。を^{。洞}。海^{。ハ}。迎^{。奉}。り^{。小}。御^{。船}。の^{。進}。ま^{。ぎ}。り^{。を}。言^{。り}。穴^門の^{。穴}。
か^{。小}。み^{。く}。遠^{。小}。魚^{。沼}。池^{。を}。つ^{。ら}。り^{。穴}。門^{。の}。穴^門の^{。穴}。小^{。魚}。鳥^{。を}。數^{。多}。つ

かく放ちく皇后の御心を慰め奉れり。皇后の魚鳥の遊
 ぶを御覽ミタマしつゝ憤イライるし思オモはせる御心稍シユク々小解トクましぬ
 る。かく潮満ウシめも。崗津ノボリ小泊トドまし。天皇小會ミタマ奉り給ふ。
 石清水縁起イシノミヅノキに。葦屋津アシヤヅ小著シせ給ふ時。以ヨリ老翁オキナ弓箭ユミヤを取ト出デし
 る。物を射イつるを御覽ミタマせられ。往イ方カタもたむ。岩崎イハサキ十丈許トウサツコト指サシ出デし
 たるを射イつられ。物モノもあはれ。射イつるを。上ウヘに。まの時マノトキ筑ツク
 紫ムラサキの伊イ親ニ縣ノ主ノ。祖オヤ五十イハ迹ト手テや。つるも。天皇の幸イデませを
 中ナカ兼ニり。五百イハ枝エ賢サカ永カキを根ネあし。小コあ。取トり。船フネの舳トモヘ艦ハ小立コタテ
 上ウヘ枝エ小八ヤ尺サカニ瓊ニを掛ツけ。中ナカ枝エ小白マ銅ス鏡ミをうけ。下シタ枝エ小十ト握ツカ
 劍ケンを掛ツけ。穴アナ門カドの引ヒキ島シマま。參マカ迎ムカ奉ムカり。あれを獻イまひる。
伊親の和名抄云。筑前国怡土郡宗像郡あり。怡土郷あり。統
 紀云。天平勝密六年。怡土城を築。あし。つるを見ゆ。五十迹手。賣

次ツギ小引ヒキり。道行ミチユキ振ヒふ。ま。出デる。此ココ引ヒキ島シマ。穴アナ戸カドの江エの
 早ハヤ朝アサの渡ワタリの間マヒ。実ミ小引ヒキ分ワケれ。侍サマも。島シマの長ナガき。早ハヤ朝アサ
 の渡ワタリの廣ヒロさ。同ドウ程ケを侍サマらむ。た。つ。何ナニ時トキの代カタ
 み。侍サマも。や。国クニ司ツカサ出デる。引ヒキ島シマの長ナガき。繩イトも。取トり。
 速スベ朝アサの渡ワタリ。押オシめ。侍サマも。此ココ事コト。以ヨリ皇ミコ后ノ宮ノの官ツカサ司ツカサや。
 法ホウ違ヒひ。侍サマも。此ココ事コト。以ヨリ皇ミコ后ノ宮ノの官ツカサ司ツカサや。
 差サシ侍サマも。諸モロ侍サマも。源ヒコ後ノ朝ノ臣ノ歌ノふ。ひ。島シマ
 のあみ。網アミ浪ナミ間マヒも。海ウミ人ヒトだ。天皇ミコ誰ナニ人ヒトを問トひ。
 給タマふ。高麗コリア國クニ意イ呂ロ山サン小。天アメノ降ノ來キ侍サマ。日ヒ杵キが苗ヒコ裔ノ五イ
 十トウ跡ツギ手テを申マカ志シ。天皇ミコ以下イダ筑ツク前ノ風フエ。臣ミコトが是コト物モノを獻イま
 する故ユヘ。天皇ミコ八ヤ尺サカニ瓊ニの勾マカ玉タマは如カタく。曲マカ妙タマ小御ミコ世ヨを治シめ。是
 また白マ銅ス鏡ミの若コトく。分ア明キ小山ヤマ河カ海ウミ原ハラを。給タマふ。是
 の十トウ握ツカ劍ケンを提ヒキ坐マカ。天下テンカを平ヒラけ給タマふ。壽ホキく獻イまふ。是
ハ次小引り。道行振ふ。ま。出る。此引島。穴戸の江の
 早朝の渡の間。実小引分れ。侍も。島の長さ。早朝
 の渡の廣さ。同程を侍らむ。た。つ。何時の代
 み。侍も。や。国司出る。引島の長さ。繩も。取
 速朝の渡。押め。侍も。此事。以皇后宮の官司や。
 法違ひ。侍も。此事。以皇后宮の官司や。
 差侍も。諸侍も。源後朝臣歌ふ。ひ。島
 のあみ。網浪間も。海人だ。天皇誰人を問ひ。
 給ふ。高麗國意呂山小。天降來侍。日杵が苗裔五
 十跡手を申志。天皇以下筑前風。臣が是物を獻
 する故。天皇八尺瓊の勾玉は如く。曲妙小御世を治め。是
 また白銅鏡の若く。分明小山河海原を。給ふ。是
 の十握劍を提坐。天下を平け給ふ。壽く獻まふ。是

白の時小天皇即五十迹手を美給ひく伊蘇志中詔給ひき

故時人五十迹手の本土を踰る伊蘇國中文徳天皇実録小橋原東

人天平勝寶元年駿河守たりし時國より黄金の出しを取
りて貢りしを孝謙天皇其功を美し勤まきし臣を教ひ
く姓を伊蘇志臣と賜ふやあり能似たりしを全し伊蘇志
を論じし如く皇典及風土記に怡土國とあり伊蘇志
を記ししやあり此の混たり傳ふく伊蘇志とあり本
土の地名あり其地を因り五十迹手と名づけしはかく
伊蘇志とあり詔を蒙りし時人五十迹手を伊蘇志と
字し其國をイソシと呼易けし伊蘇志とあり地名の上
代より有し証に天明四年筑前國那珂郡志賀島人田を堀
り漢委奴國王と云文あり金印を得たりその度制印法を
も小漢時の法に符ふ由あり後漢書光武紀に中元二年倭
春正月東夷倭奴國王遣使奉獻と東夷傳に中元二年倭
奴國王奉貢朝賀使人自称大夫倭國之極南界也とあり倭
奴に魏志に伊都國世有王皆紆屬女王國とあり伊都に
る乃此國の怡土郡をいひ倭奴國王とあり此伊都縣主祖
に彼中元二年我々垂仁天皇八十六年小皇朝に改奉り

竊小漢国小使譯を通りて伊甲をい得たりしあり有るは
委く好古小録北惠瑣談洪園文集藝園日涉等小已小
考へ注せしを見らるる姓氏録小都怒我阿羅斯等が始り
投化りし長門國につきたる小伊都都比古とあり者我ど
此國の王なり我を除く又王に無しとあり此の父を祖
同伊都縣主とあり彼光武が時小使を遣はし其の父を祖
父とあり筑前國より長門國に上りたり漢籍に小使
譯の漢に通る者三十國あり中なる莫又論ふまじくも
有りしは漢人も天小二の日記に地小二の王無しとあり
臣ハ二君小仕たりしとあり今も我大朝廷を除く他
國に私小あし通る事ハ絶るあり禮知らぬ莫の
極みなり足利氏より先づ世にわたり禮知らぬ莫の
狂夫に有るなり莫と二十年餘りの後世にわたり禮
く殆其死屍が小あり堀り出されし後世にわたり禮
まはせ廿二日天皇饒の縣小幸しと櫻日宮小たれま
り貝原氏云古傳小天皇皇后香推宮小幸しとあり御船
より上り賜ひ芦屋小整留りし諸軍小命し兵器を修め

弓矢を調へ給ふ地を矢をぎやうと敵国を遠くれば
專行伍を正しく号令を嚴ふ御旗を張らせ給ひ
を旗浦を云ひし今訛る初浦やうを針を著させ給ひ
一所を針浦やうと天鏑矢を立せ給ひ地を天野海邊
や云ゆ此所を宿陳せ給ひ給ひ給ひ給ひ給ひ給ひ
とく千本の松枝を扱給ひ給ひ給ひ給ひ給ひ給ひ
つけり垣崎松原や岡松原や下立山嶺下立山嶺下立山嶺
給ひ給ひ木を笠松と名く山道を幸せし山林蔭鬱
かり給ひ宗像郡を高峯を登り海を視し海見
ゆや詔ひ地を見阪嶺や下段の坂を下りし平
垣や道下れ程を香椎を著給ふやうを備縣にや
が那珂郡を下段の備河宣化天皇紀小皇后ハ當時神
那津やを檀日官の夏の後段ふらるる
憑り給ふ秋九月五日天皇群臣小詔し熊襲を征む
中を議らせ給ふ時皇后小神託し誨奉り宣るハ
天皇くまの服従を憂ひ給ひ其ハ蔭の空國

か皇い兵を擧ぐ伐給ふ足らむ西方小茲國小愈也
の國あり美女の眉引け向つ國を記傳云美女の眉
の云雲井小見ゆ阿波の山や如く其國の山の
遙小然見ゆを向津國も海の遠方小遙小見ゆ
國をり小總体紀ふむはく金銀を初く目の耀く種々の
るいきの渡やあり小同し
珍き寶其國小多き其國の名ハ栲倉新羅の國や
よ皇金銀を貢しあ推古天皇皇極天皇天武天皇持統天皇
皇等の御紀小見え皇國小金の出る夏ハ文武天皇大寶
元年小始聖武天皇天平廿一年小陸奥國小田郡小貢
もあれ貢皇銀ハ天武天皇三年小對馬島小始貢
や并小御紀小見た皇國に固まりあり金銀
を堀り給へ外國より取用し給ひ夏を記傳小
論ひられ皆初まやありも神の御心必
然るをき理ありあやちる凡人の常理も測る
るま小あはれやいれ如く実小測るるま小あはれ
やも熊谷蓮心恒言小古人の金銀を地中の筋骨を

存のハ、いまだ盡せしむるに、実ハ人身に比し、ハ、精髓を以て、
その如く、昔金銀の地中、ハ、大畜せり、世ハ、生人ハ、更なり、万
物、ハ、小良善、ハ、剛健、ハ、理、ハ、後世、ハ、至る、
其を、各む、ハ、知らず、掘取、ハ、の、み、を、好、ハ、譬、ハ、人
の、護、ハ、房、勞、度、ハ、精、髓、を、費、ハ、虚、損、衰、痿、セ、ハ、同、
理、ハ、其、地、ハ、生、ハ、人物、ハ、亦、浮、薄、ハ、脆、弱、ハ、
是、ハ、中、ハ、語、ハ、實、ハ、然、説、ハ、彼、國、ハ、
皇、神、等、ハ、皇、國、ハ、取、ハ、
取、用、ハ、神、御、謀、ハ、
給、ハ、刃、小、血、ハ、其、國、ハ、自然、
復、能、襲、ハ、服、ハ、
討、ハ、終、ハ、從、ハ、奉、
其、祭、ハ、
其、穴、門、直、踐、立、ハ、貢、ハ、水、田、名、ハ、大、田、
幣、ハ、給、ハ、教、誨、ハ、給、ハ、
一、書、ハ、朕、
神、ハ、奉、
朕、ハ、

この船あり、乗らむや、天皇の答、白し給なり、あり、
此、方、ハ、熊、國、を、征、給、ハ、
紀、ハ、異、ハ、
の時、ハ、須、佐、之、男、大、神、詔、ハ、
此、御、治、ハ、
櫂、樟、と、ハ、化、出、ハ、
ハ、造、里、ハ、
驗、頭、ハ、
廷、小、仕、奉、ハ、
小、皇、神、ハ、
海、原、ハ、
み、く、馬、ハ、
廣、く、峻、ハ、
る、
仕、奉、
神、功、皇、后、御、傳、記、上、卷
二十

下あもいなる如く禍神の荒心や我反臣やの外国人を誘入ちやうくたふ氣をくも彼より仇を奉むやせし由をれば皇大神等の御門押張其を御覽定給ひく熊襲を捨る先その後拒を爲る韓國を征伐く神代御定の如く服従へしめく謂ゆる杖標を舍きく其根抵を拔せ錫をむやの天津御策ちりまき其国必自ら服ひをむまた熊襲も服ひをむや詔なる神詔を深く思惟く悟奉るわう愚童訓小大神宮御託宣やうく三韓をぐ小十万八千艘舟を出しく數万の軍兵を率へ只今来らむや此地ふつゝめ先小いそぎ異国小向ひ給ると宣ふ由し守佐託宣集小引る阿蘇縁起小新羅軍到来欲傾日本やも源平盛衰記小皇后の御宇新羅のせいト我國を反くよ聞えられやあも共小此時の事や聞えたりゆを狂儒輩の神詔とハ皇后の三軍の志を振しめ給る權謀をせやも无名の軍不義に奉を誨給る神詔ありや疑ひつる狂詔等此聞ゆるハ異國を成王固まらん佛心小く記傳あも是とくを論ひく神の御爲をせよと虚説妖妄なりいと此又漢国の私智をのみ恃む習ふく実の道を知るあや能くゆるもれ常天皇ハ皇神の御託語を聞召し言たりやどいもれたる

いや疑ひおもほき御情まてれを便高山小登らる遥小望給ふ大海曠遠あく國見えぬあに天皇皇神小對を白し給く朕ソ小見とや海のみふく國ハ無し大虚小國あや誰の神ぞ徒小朕を誘き給る我皇祖諸天皇等天神地祇ハこれ祭皇給るれ遺れ留神あやめやも白し給ふ記小ハ此御問答ありく詔を押しけく控給る黙いまわ云や皇神の大怒時小まこやがく天皇崩せりやありそ下小引皇神ま皇后小託し詔なる天津水影小押伏けく我を見り國をたぐも國無しや詔し我語を誘給る汝命く詔し遂小信たまは汝命ハ其國ハえ得

給ふ。今皇后始く懐胎坐る其御子を得給ふ。此の御詔
ひたる。あの御誨語の必是歳の十二月のうちに証の皇后
始く懐胎坐る。明年九月の御
紀小適當皇后之開胎とあり。小合考る。知らり。下小引
く愚童訓ふ。天皇遺詔。御身ハ徒。三月や
やらむ。宣へる。由記せり。明年二月小崩坐せり。されど
此の御子ハ。微。限。天。道。敬。按。小。大古の時。須佐之男大
神ハ。天。壁。立。限。天。翔。御。覽。韓。國。小。降。坐。し。そ
の御子ハ。東水臣都奴命ハ。新羅及北方の諸蕃邦の餘り
土地を斷取。來。出雲國小。給。必。彦。名。命。ハ。常
世國小。渡。給。人。代。成。三。毛。野。命。ハ。常。世。國。小。度。ハ
ま。崇。神。天。皇。御。世。任。那。人。參。來。新。羅。の。阿。羅。斯。等。も。歸。化
王の子。天。日。槍。意。富。加。羅。國。の。都。怒。我。阿。羅。斯。等。も。歸。化
斯。天皇四年。年。小。秦。氏。の。祖。功。滿。王。を。授。誠。せ。り。由。皇。典。小。見
え。昭。晰。た。る。を。天。皇。の。神。詔。を。疑。ひ。せ。り。御。年。老。ま。り
く。古。傳。を。忘。給。た。る。を。思。ひ。く。遠。征。小。倦。ま。り。韓。國。ま。り
渡。幸。は。を。厭。む。後。小。御。告。あり。つ。る。小。依。れ。を。天。照。大。御。神
教。諭。し。給。ふ。痛。う。其。大。命。を。信。給。ふ。依。り。詔。せ。し。神。や。き
小。坐。は。を。痛。う。其。大。命。を。信。給。ふ。依。り。詔。せ。し。神。や。き

を申し給ひつれば。太く怒ら。給ふ。又世の人。此を。思ふ
し。め。体。ね。も。宜。なり。癩。可。畏。々々。又世の人。此を。思ふ
る。天皇のみ。坐。さ。り。天下。小。誰。の。人。く。此。大。御。神
の大御心。小。背。き。奉。る。一。日。片。時。も。得。あ。る。を。き。あ。れ
り。中。論。を。た。り。を。九。世。小。有。や。あり。人。人。や。あ。り。○九年
る。人。ハ。能。思。惟。ひ。く。仕。奉。る。を。き。の。ふ。ま。る。○九年
庚辰。春。正月。天皇。を。任。神。語。を。信。け。給。ふ。熊。襲。を。征。給。む。む。や
く。諸。臣。を。聚。め。謀。り。給。ふ。時。武。内。宿。禰。命。諫。め。奉。る。熊。襲
ハ。勢。強。く。兵。卒。雲。の。あ。や。く。集。り。を。輒。く。兵。を。あ。け
征。給。ふ。を。き。小。あ。り。止。め。奏。され。つ。て。也。此。條。ハ。天。書
天皇。聞。召。され。強。く。熊。襲。を。征。給。る。小。皇。師。利。を。還
上。ま。り。け。る。が。二。月。五。日。忽。小。惱。み。給。ひ。翼。日。筑。紫。檀。日。宮
小。崩。坐。し。ぬ。記。小。上。小。引。次。の。文。小。う。れ。其。神。大。く。怒。り。ま
り。詔。り。く。凡。そ。は。天。下。ハ。汝。の。知。は。べ。き。國。小

あはれ、汝の一、道不向しとせと詔ひきま、建内宿禰大
臣白し、けり、恐る。我、天皇を侍その大御琴遊させや白せ
ば、これや、其御琴を取上りせ、をまゝく、小彈いませり
ふ、い、た、あ、は、は、御琴の音聞えは、を、即、火をあげ
る見奉れども、既崩まゝ、ふきやあり、上、件、の、如、く、前後二度
の神憑語、まゝ、崩まゝ、時、の、夏、も、記、し、混、一、小、傳、た、る
あ、実、の、此、方、より、神、命、を、請、坐、せ、り、以、時、の、混、一、小、傳、た、る
御誨、の、三、度、あ、ま、り、を、命、を、請、坐、せ、り、以、時、の、混、一、小、傳、た、る
兵雲、の、如、し、や、奏、され、を、按、ひ、拱、津、風、土、記、し、仲、哀、天、皇、將
攻、三、韓、到、筑、紫、崩、大、平、記、榻、鳴、嘯、華、ふ、天、皇、高、麗、三、韓、を、攻、給
ひ、つ、ら、お、戦、利、を、く、く、歸、ら、せ、給、ふ、お、ど、り、ひ、前、後、小、引、不
物、や、も、を、併、攻、へ、も、熊、襲、兵、小、異、賊、の、雜、糅、お、く、や、い、と、明
的、く、或、説、ふ、賊、矢、小、中、ま、く、崩、坐、せ、り、や、い、つ、る、石、清、水、
去、る、縁、起、愚

る、二人、弓、箭、を、帶、ひ、く、守、護、も、り、小、第、六、日、小、黒、雲、忽、小、桐
引、き、塵、輪、目、を、瞋、ら、し、弓、矢、を、持、り、来、り、つ、れ、ハ、御、門、自、ら、御
弓、を、取、ら、し、矢、を、ま、げ、く、射、さ、せ、給、ふ、塵、輪、の、頭、を、射、切、り、
く、頭、身、を、た、り、お、成、り、く、落、し、く、ま、り、志、た、ま、り、御、門、
流、矢、小、中、ら、せ、給、ひ、く、玉、體、恙、あり、ま、り、崩、時、の、遺、詔、や、御
身、の、徒、を、御、更、お、成、り、三、月、や、ら、む、を、れ、も、御、心、苦、
多、れ、ども、此、の、孕、ま、れ、給、ふ、ハ、皇、子、を、り、給、り、構、る、異、国、を
討、隨、へ、皇、子、を、佐、小、即、け、國、土、を、御、め、給、ふ、を、御、涙、極、あ
へ、給、り、宣、ひ、く、其、時、皇、后、落、り、涙、を、押、へ、つ、り、異、国、の、ま、り、
御、心、安、く、思、食、を、給、り、や、り、ま、り、小、り、卧、し、沈、み、給、ふ、あり、
信、が、た、き、説、も、交、れ、ども、異、賊、の、來、り、を、り、違、あ、り、ま、り、
あ、ま、り、貝、原、氏、も、仲、哀、帝、新、羅、賊、の、矢、小、中、ま、り、隠、れ、させ、給、ひ
く、を、神、后、深、く、歎、せ、給、ひ、且、遺、詔、を、依、り、其、仇、を、報、む、を、
坐、く、速、小、戦、伐、を、事、や、為、給、る、義、兵、を、り、給、り、ま、り、
御、年、ハ、一、百、十、歳、或、ハ、百、歳、も、八、十、二、歳、ま、り、七、十、二、歳、や
も、五、十、二、歳、も、傳、々、た、る、五、十、二、歳、ハ、紀、本、注、の、説、を、
ガ、山、崎、嘉、が、説、小、五、ハ、九、の、誤、と
せ、ま、り、ハ、景、行、天、皇、三、十、九、年、の、御、誕、生、を、同、四、十、三、年
小、父、王、崩、れ、時、御、年、五、歳、を、朕、弱、弱、冠、小、違、は、り、小、父

王崩すませしやみつめし詔まらるゝも符ありされば成
務天皇四十八年小七十歳より太子や為給ひ八十歳より
御代知りぬし九十二歳より崩す
坐すやせむさやわよく考ふぞ
あゝ小皇后大臣武内

宿禰及大伴武以大連中臣烏賊連光仁天皇紀小伊賀都臣
中臣速祖天御中主命

二十世の孫意美佐夜麻之子也尊卑大三輪大友主君
地神

分脈小ハ又名と跨耳命やいなり小大已貴命十一世の孫大友主命や見え姓氏録小
神人ハ大国主命五世の孫大田根子命の後也物部
部

咋連天孫本紀小宇麻志麻治命八世の孫物
部膳咋宿禰ハ十市根大連之子や見ゆ小詔給も今

天下の事天皇の崩御もあやひ知らばも百姓あれを

知るハ懈怠をむや詔給ひ其御喪を隠秘さしめ給ひ竊

小天皇の御屍を收め奉りあれを武内宿禰小附け海路

より穴門國小遷奉り豊浦宮の荒城宮小無火殞歟と

坐奉り給ひ記傳小殞官ハ万葉集小大荒城の時や
あり又他所も作られたり大荒

へぬ程の意あり官中も又他所も作られたり大荒

木の表やゆふ地あり古の天皇の大殞官の趾も有け

む無火殞歟ハ叙紀小謂殞歟不置燈燎令人不知也やわ

里古の殞官ハ豊浦社説小豊浦官の辰巳小山あり天皇

の御陵所や今もあり是御殞官ハ所なりまゝ宮より北

五六里豊浦山やゆふ山の峯小天皇の御太刀を納めたり

やゆふ壘窟あり同廿二日武内宿禰穴門國より還來り

皇后小檀日宮小復命奏し給ふ○比大御代小荒木田佐波

やゆふを以て伊勢大御神を齋奉らせ給ひ例文小因る

物部連が祖伊香色男命の孫印播足尾をも久努國造小

任し給ひ名郡久努郷や和名抄小あり地を○あ

小皇后天皇の神比御教小從ひ給ふ崩坐しぬる夏を